

発達凸凹の 当事者から 見える世界

発達障害の子どもだった私は何を考えていたか、
なぜ診断されて自助グループを主宰するようになったのか

【講師】 横道 誠 (よこみち まこと) 氏

京都府立大学准教授・文学博士(京都大学) 専門は文学・当事者研究。

ASD(自閉スペクトラム症)とADHD(注意欠如多動症)の当事者として発達障害の自助グループを主宰。

『みんな水の中-「発達障害」自助グループの文学研究者はどんな世界に棲んでいるか』(医学書院)

『発達障害の子の勉強・学校・心のケア~当事者の私がいま伝えたいこと』(大和出版)

『発達障害者はく擬態>する一抑圧と生存戦略のカモフラージュ』(明石出版)

など発達障害に関わる著書を多数執筆されている。

—4月2日は世界自閉症啓発デー・4月2日~8日は発達障害啓発週間—
今回は「当事者から見える世界」をテーマに発達障害の理解を広め・深めるための講演会を開催いたします。当事者研究を専門とされ、発達障害の自助グループを主宰されている京都府立大学の横道誠先生より「発達障害の子どもだった私は何を考えていたか、なぜ診断されて自助グループを主宰するようになったのか」をお話して頂きます。ぜひご参加ください。

2026年 4月4日(土) 14:00~15:30 (13:30受付開始)

奈良市北部会館 市民文化ホール

アクセス：近鉄高の原駅より徒歩5分 申込みフォームに地図のリンクがございます。
ご来場の際は、近隣の民間駐車場または公共交通機関をご利用ください。

【参加費無料・定員100名程度】

ご関心ある方はどなたでもご参加頂けます

※定員の目安を超えた時点で受付を締切ることがございます

【お問合せ】奈良県発達障害者支援センターでいあー

【申込みフォーム】



0744-32-8760



deardeer@hozanji-wel.org